

授業科目名	看護学概論	担当教員	◎休波 茂子、有家 香	科目ナンバリング NF150
必修	開講年次：1年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間	

【授業概要】

人間と環境、健康、ケアリング、生活の視点から看護について理解する。看護の概念と本質についてどのように発達して現代に至ったのか理解する。ヒューマンケアの基本に関する看護実践の基礎知識として、人間への愛と尊厳の重視、人権の擁護や倫理性を基本にしたケアの必要性など、多様な看護の視点により探求する。

【達成目標】

1. 人間への愛と尊厳の重視、人権の擁護や倫理性を基本にしたケアの在り方(ケアリング)について説明できる。
2. 看護の定義について説明できる。
3. 主要な看護モデルおよび看護理論の特徴について説明できる。
4. ナイチンゲールの業績と近代看護への貢献について説明できる。
5. 看護学の基礎的概念(人間、環境、健康、看護)について説明できる。
6. 看護の機能と看護活動、看護の役割について説明できる。
7. 看護におけるマネジメントについて説明できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| [01] 看護とは、ケアリングとは、看護学とは | (休波) |
| [02] 現代の看護の定義と看護モデル | (休波) |
| [03] 主要な看護モデルと看護理論(1) - ニード論及び相互作用論 - | (休波) |
| [04] 主要な看護モデルと看護理論(2) - システム論 - | (休波) |
| [05] 主要な看護モデルと看護理論(3) - 全体論 - | (休波) |
| [06] 看護の歴史(1) ナイチンゲールと看護の歴史 | (有家) |
| [07] 看護の歴史(2) 諸外国及び我が国の看護歴史 | (有家) |
| [08] 人間と環境(1) - グループワーク - | (休波・有家) |
| [09] 人間と環境(2) - グループ発表 - | (休波・有家) |
| [10] 看護の対象「人間」について | (休波) |
| [11] 看護の対象「環境」について | (休波) |
| [12] 看護の対象「健康」と「生活」保健医療システム | (休波) |
| [13] 看護の4つの概念(人間、健康、環境、看護) | (有家) |
| [14] 看護の法的側面と看護活動 | (有家) |
| [15] 看護の役割、看護ケアのマネジメント | (休波) |

【教科書】

志自岐康子他編集(2022). 基礎看護学① 看護学概論 第7版, MC メディカ出版

【参考書】

松木光子編集(2011). 看護学概論 第5版, NOUVELLE HIROKAWA

松木光子他編集(2012). 看護理論-理論と実践のリンケージ-, NOUVELLE HIROKAWA

【評価方法・評価基準】

筆記試験：80%、課題レポート10%、グループ発表10%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された課題の記述、教科書による予習

事後学習：講義資料をもとに重要なキーワードを中心に学習内容の復習、提示された課題の記述

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅲ. チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

試験や課題レポートについては評価し、傾向をまとめて全体にフィードバックを行う。

【備考】

この科目は看護学分野の基本的な知識となるためキーワードとなる用語や定義は必ず理解しておくこと。